

令和3年アマ審大分支部座学講習会回答集

1、 走者3塁、投手がwindアップを始めた時、打者が急に打撃姿勢をやめたので投球を中止した。ボークが宣告されるか。

回答① 球審はボークを宣告してはならない。球審はタイムをかけて“出発点”からやり直させる。なお、打者が打撃姿勢をやめても投球した場合は、正規にカウントする。 競技者必携P83-1 規則 5.04 b (2) 【原注】

2、 1アウト走者1塁、打者が2ストライク後のワンバウンドの投球をファウルチップし捕手は捕球した。アウトになるか。

回答② ワンバウンドの投球でも打者のバットに触れたものは、ワンバウンドしないときと同様に扱う。したがってファウルチップで打者三振である。 競技者必携P83-4 規則 5.05 a (1) 【原注】 5.09 a (2) 【原注】

3、 1アウト走者1塁、打者はカウント3B-2Sからワンバウンドの投球を空振りして1塁へ走った。捕手はこの投球をミットに収め、1塁走者が走っていなかったので2塁へ送球し、2塁手はベースを踏んだ。どうなるか。

回答② 0アウトまたは1アウトで、走者が1塁(1・2塁、1・3塁、満塁のときも同様)にいるときは捕手が“正規の捕球”をしなくても自動的に打者はアウトになる。 競技者必携P84-6 規則 5.09 a (3) 【注】

4、 2塁走者が3盗したとき、打者のバットが捕手のミットに触れ、打つことができなかった。どう処置したらよいか。

回答② 打撃妨害で打者には1塁が与えられる。2塁走者は3塁へ進める。

原則として走者は元の塁に戻らなければならないが、盗塁していた場合には次の塁へ進める。 競技者必携P86-16 規則 5.05 b (3)、5.06 b (3)(D)

5、 先攻チームが1点リードして迎えた最終回の裏、1アウト走者2・3塁、打者が妨害されながらも右翼フライを打って2アウトとなったが、3塁走者はリタッチして生還、2塁走者もリタッチして右翼手の本塁悪送球によって3塁を回り生還した。どう処置したらよいか。

回答② 監督の申し出がなければボールデッドとし、それぞれ走者を戻し、打者走者に1塁を与え、1アウト満塁で再開する。 競技者必携P87-19 規則 5.05 b (3)

6、 走者1塁、打者は1塁線上にヒットを打った。打球は1塁手の後方で審判員に当たったため、ボールは転々とライト方向へ、打者走者は3塁に達し1塁走者はホームインした。どう処置したらよいか。

回答① ボールインプレイであるから打者の3進と1塁走者のホームインは認められる。

競技者必携 P88-21 規則 5.05 b (4)

7、 走者 1・3 塁のとき、打球が野手に触れずに内野内に位置している審判員に触れた。どう処置するか。

回答① ボールデッドとし、打者を 1 塁に、1 塁走者を 2 塁に進め、3 塁走者は留め置く。

競技者必携 P89-25 規則 5.06 b (3)(B)②、5.06 c (6)

8、 走者 2・3 塁、投手のけん制球で 3 塁走者は 3・本間に挟まれたが 3 塁へ戻った。このとき、2 塁からの走者も 3 塁についていた。3 塁手は 2 人の走者に触球した。いずれの走者がアウトになるか。

回答① 2 塁からの走者をアウトにする。 競技者必携 P88-22 規則 5.06a(2)

後位の走者、すなわち 2 塁からの走者がアウトである。

9、 2 アウト満塁、打者は 4 球で 1 塁に進んだ。塁についた後、2 塁の方向へ不用意に塁を離れたので捕手は 1 塁へ送球して走者をアウトにして攻守交代となった。3 塁走者は 1 塁走者がアウトになったのちにホームインした。この場合得点は認められるか。

回答② 得点は認められる。 競技者必携 P89-26 規則 5.06 b (3)(B)【原注】【注】、5.08a【注 2】

10、 1 アウト走者 1 塁、打者が 2 塁後方にフライを打った。2 塁手はこれを落球したので、この間に 1 塁走者は 3 塁に向かい、打者は 1・2 塁間にいた。中堅手が 3 塁に送球したが悪送球となってスタンドに入った。各走者をどこまで進ませるか。

回答② ボールデッドとし、1 塁走者を本塁へ、打者を 3 塁に進ませる。

競技者必携 P92-39 規則 5.06 b (4)(G)

11、 走者 1 塁、投球が暴投となりベンチに入った。その間に走者は 3 塁まで進んだ。どう処置したらよいか。

回答② 1 塁の塁しか与えられないから、走者を 2 塁へ戻す。 競技者必携 P95-45

規則 5.06 b (4)(H)

12、 1 アウト走者 2 塁、三振目の投球を捕手が落球し 1 塁に送球しようとしたとき、球審の身体に触れて邪魔になり悪送球となった。守備側から球審の妨害で打者アウトではないかと申し出てきた。どう処置したらよいか。

回答① 第 3 ストライクを捕球できなかったときの捕手の送球動作を、球審が明らかに妨害したことになるので、ボールデッド、打者アウトとして、2 塁走者を投球当時の塁に戻す。

競技者必携 P97-53 規則 5.06 c (2)

13、 投手板に触れている投手が、塁に送球してからその塁の方向へ踏み出した。差し支えないか。

回答② ボークとなる。自由な足を直接その塁の方向へ踏み出してから送球しなければならない。 競技者必携 P104-81 規則 5.07 d、6.02a(3)

14、 2アウト満塁、打者のカウントが3B-2Sとなったので、走者は一斉にスタートした。3塁走者は投手の投球が終わらない前に本塁に滑り込んだが、この投球を打者が打って3ゴロとなり、1塁でアウトになった。3塁走者の得点は認められるか。

回答② 得点は認められない。 競技者必携 P105-85 規則 5.08a【例外】(1)

15、 1アウト走者3塁、打者が左翼へフライを打った。3塁走者は2アウトと思って本塁を踏んだが、1アウトであることに気付いて3塁に引き返そうとしたとき、落球した左翼手は3塁に送球して走者を3・本間でランダウンプレイとなった。この間打者走者は3塁まで進んだが、このままでよいか。

回答② フライが捕えられなかったので、走者はリタッチする必要はない。たとえ勘違いであっても、いったん本塁を踏めば得点となる。したがってランダウンプレイによるアウトは無効であり、打者走者の進塁も認められる。このような場合、審判員は得点をしている3塁走者を直ちにプレイから除かなければならない。 競技者必携 P106-90 規則 5.08a【原注】、1.04

16、 2ストライクの後、打者が打ったボールが鋭くバットをかすめて直接捕手の胸に当たり、跳ね返ったボールを地面に触れる前に捕えた。打者は三振アウトか。

回答① 三振でアウトである。用具や身体に最初に触れてから跳ね返ったものでも、地面に触れる前に捕えれば捕球となり、ファウルチップで、打者は三振アウトとなる。

競技者必携 P109-101 用語の定義 34

17、 1アウト走者2・3塁、打者はカウント3B-2Sから次の投球を空振りした。投球は打者の身体に触れてバックネットの方に転がった。走者はいずれもホームインしたが守備側から今のはファウルボールではないかと申し出があった。どう処置したらよいか。

回答② 競技者必携 P111-問 107 野球規則 5.09a(6)、用語の定義 73e

18、 打者が1塁方向にゆるいゴロを打った。これを捕えた捕手が1塁に送球した時、左足が本・1塁間後半のファウルライン上を走っていた打者走者の左腕に当たった。どう処置したらよいか。

回答② ファウルライン上は走路に含まれるから守備妨害とはならない。したがってボールインプレイで成り行きとなる。ただし、ファウルライン上に右足があった場合は走路外とみなされ守備妨害となる。 競技者必携 P114-118 規則 5.09 a(11)【原注】

19、 1アウト走者1・3塁、打者が2ゴロを打った。野手が捕球後2塁へ送球しようとしたとき、1塁走者と衝突したので、審判員は守備妨害を宣告した。打者走者は1塁に達していなかったが、3塁走者はすでに本塁を踏んでいた。どう処置したらよいか。

回答② 1塁走者アウト。攻撃側の妨害が、打球または打球を処理しようとしている野手に対して発生した場合は、各走者は投手の投球当時占有していた塁に戻らなければならない。2アウトで、3塁走者を3塁へ戻し、打者走者には1塁を与える。

競技者必携 P117-130 規則 5.09 b(3)、6.01a(10)

20、 打球が3塁に触れている走者に当たった。どう判定したらよいか。

回答① 走者が塁についていてもいなくてもフェア地域で当たればアウト、ファウル地域で当たればファウルボールである。競技者必携P120-142 規則 5.06 c (6)、5.09 b (7)、6.01 a (11.)

21、 0アウト満塁、打者が2塁近くにフライを打ち上げ、“インフィールドフライ”が宣告された。ところがこの打球が塁上にいた走者に直接当たった。どう処置したらよいか。

回答② インフィールドフライと宣告された打球に限り、塁についている走者に触れてもその走者はアウトにならず、ボールデッドとなり打者だけをアウトにする。

競技者必携P120-143 規則 5.09 b (7)【例外】

22、 1アウト走者1・2塁、打者が場外本塁打を打った。1塁走者は3塁近くで2塁を空過したことに気付いて2塁の踏み直しに戻ったが、本塁打を打った打者はすでに2塁を過ぎていたので、2・3塁間で2人の走者はすれ違ってしまった。どう処置したらよいか。

回答① 打者走者が追い越しアウトとなる。得点は2点。

競技者必携P123-153 規則 5.09 b (9)

23、 走者2塁のとき、打者が1ゴロを打った。1塁手は前進してこの打球を捕え2塁走者をけん制しながら打者走者に触球しようとしたが、打者走者は逆走し本塁を過ぎてしまった。2塁走者はこの間に3塁に進塁した。どう処置したらよいか。

回答② 打者走者は本塁に達したらアウトになるが、ボールインプレイであるから走者の進塁は認められる。 競技者必携P123-155 規則 5.09 b (10)【注】

24、 1アウト走者3塁、打者が外野にフライを打った。野手はジャググルしながらも捕球した。3塁走者は野手がジャググルしている間に3塁ベースをスタートして本塁を踏んだ。捕球した左翼手から3塁へ送球され離塁が早いとアピールがあった。走者はアウトか。

回答② アウトではない。走者は野手が最初にフライに触れた瞬間からスタートしてよい。

競技者必携P125-160 規則 5.09 c (1)【原注】、用語の定義 15【原注】

25、 救援投手が出て打者に1球投げたとき、代打者が出たので守備側の監督が投手の交代を申し出た。許されるか。

回答① 交代は許されない。救援投手は、そのときの打者または代打者がアウトになるか、または1塁に達するか、あるいは塁上の走者をアウトにして攻守交代になるまで投球する義務があるから、その義務が終了するまで交代は許されない。 競技者必携P131-182 規則 5.10 g